



転送不要

SAMPLE

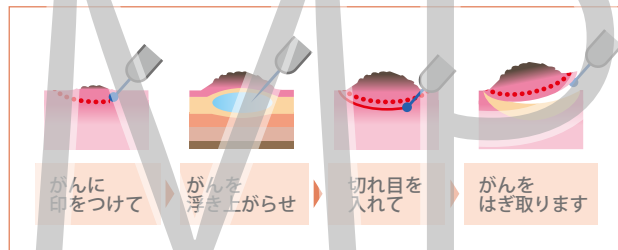
SAMPLE

気になる症状がなくても、  
2年に1度、  
**胃がん検診**が必要です。

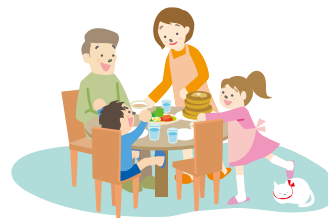
〇〇市 福祉保健部 健康推進課

精密検査でSAMPLE

胃がんが見つかっても、  
早期なら、胃を取らずに  
がん細胞だけ  
はぎ取れます。



術後の生活も  
今までと  
変わりません。



出典：国立がん研究センター がん情報サービス

このがきは、がん検診受診率向上く希望の虹プロジェクト>が作成しました。

## 胃がん検診の流れ

SAMPLE

### 1. 受診場所・受診日を選ぶ

市ホームページに掲載されている  
医療機関リストからお選びください。

詳しくは

もしくは、〇〇市にお電話ください。

TEL: 000-0000-0000

### 2. 実施医療機関に直接予約する

SAMPLE

### 3. 受診する

自己負担金0,000円を支払い受診してください。

■ 受診内容 ・胃内視鏡による検査

### 4. 結果\*

約2～3週間後に自宅に郵送されます。  
検査結果を確認してください。

\* 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)



今年度は、〇〇市より

0,000円の助成\*があります。

胃がん検診は助成がない場合5,000円程度かかりますが、市から助成が出るため、自己負担0,000円で受診できます。

■対象者：〇〇市在住の50歳以上の方

■受診期間：令和〇〇年〇月〇日～  
令和〇〇年〇月〇日まで

例年、受診期限が近付くと大変混みます。お早めにご予約・ご受診ください。

検査費用	約0,000円
- 助成金	約0,000円
自己負担金	0,000円

\*現金が支給されるわけではありません。

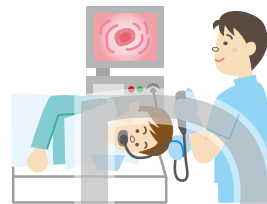
お問い合わせ先

〇〇市 健康福祉部 〇〇〇〇課  
〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0  
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

胃がん検診は、  
胃内視鏡による検査です。  
検査自体は10分程度で  
終わります。

先端にカメラのついた  
細い柔軟チューブを口  
から体内に挿入し、胃内  
部を観察する検査です。

(経鼻内視鏡検査を選べる場合があります。  
詳しくは医療機関へお問い合わせください。)



検診で  
「要精密検査」となった場合は  
その後必ず、  
精密検査を受けてください。

精密検査は生検（組織の一部を採取して調べる）  
または、胃内視鏡検査の再検査です。※1

※1 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけれない場合もあります。

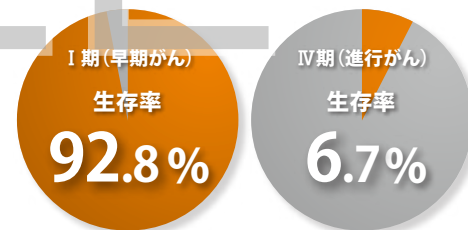
胃内視鏡検査については、左頁のお問い合わせ先におたずねください。

胃がんはわが国では50歳代以降に  
罹患する人が多く、がんによる死亡原因の  
上位に位置するがんです。\*2

早期の胃がんは、ご自分ではまず気づきません。

胃がんはなりやすいがんですが、  
治しやすいがんでもあります。  
早期のがん<sup>※3</sup>の段階で治療すれば、  
90%以上が治ります。<sup>※4</sup>

検診は2年に1度、定期的に受けてください。  
ただし、胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなどの  
症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。



※2 胃は、がん罹患した人が3番目に多い部位です。(2020年男女計)  
出典：国立がん研究センター がん情報サービス「最新がん統計」(全国がん登録)

※3 ここでいう「早期」とは、がんの進行度を0～IV期に区分した病期分類(TNM分類)における1期を意味します。(IV期に近いほどがんが進行している状態です)

※4 ここでいう「治る」とは、診断時から5年後に生存している状態を示します。  
出典：2014-2015院内がん登録5年生存率報告におけるネット・サバイバル(純生存率)